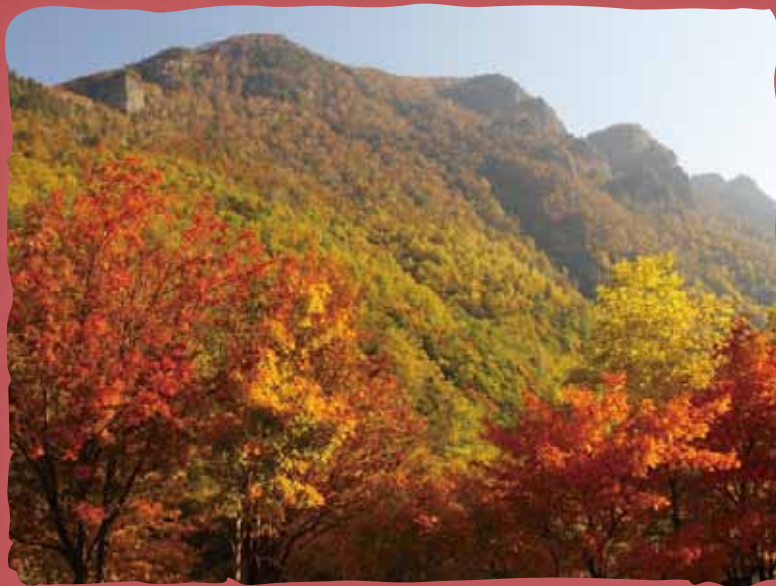


黒岳沢、層雲峡峡谷 見頃です！



↑10月9日層雲峡園地



↑層雲峡園地より黒岳

今年は山肌の見頃が短く、なかなかきれいな姿をゆっくりと楽しめませんでした。層雲峡峡谷の紅葉は今

週いつぱい楽しみです！
層雲峡での紅葉の楽しみ方は「見上げること」。
お車の方はぜひ

紅葉 温泉街まで到達

2011年
10月10日
月曜日
第10号

黒岳新聞

紅葉特集号

なう！
黒岳
くろだけ

- ◆峡谷みごろ
- ◆秋の層雲峡峡谷
- ◆ティーラウンジ四季
- ◆紅葉谷散策マップ

営業時間

● 10/1 ~ 10/16 ●

ロープウェイ

6:00 ~ 17:00

(上り最終 16:40)

リフト

6:30 ~ 16:30

(上り最終 16:15)

● 10/17 ~ 10/31 ●

ロープウェイ

7:00 ~ 16:30

(上り最終 16:10)

リフト

11/3 まで整備運休



層雲峡峡谷の紅葉・黄葉

同じナナカマドでも、気象条件や遺伝子的要因などが関係して、赤くなったり、黄色くなったりするそうです。光の当たり方によっても透ける色が違って見えて、とってもきれいですよね。

上の写真は映月峰。岩肌を染める紅葉はフィナーレを飾るにふさわしい光景。(乗車中)
第二駐車場から見上げるロープウェイと紅葉のショットも今だけ！→



ゆっくり紅葉を楽しみたい方には…
軽喫茶 ティーラウンジ四季
目の前に広がる朝陽山。ゆっくりと眼下の峡谷を鑑賞できますよ♪
ロープウェイ山麓駅舎2階。
みなさまのお越しお待ちしております。

気軽にハイキングを楽しみたいなら『紅葉谷』へ！
「ハウチワカエデ」の赤、「イタヤカエデ」の黄など、秋色満点♪新聞裏面に紅葉谷散策マップを掲載したので、ご参考にお使いください。



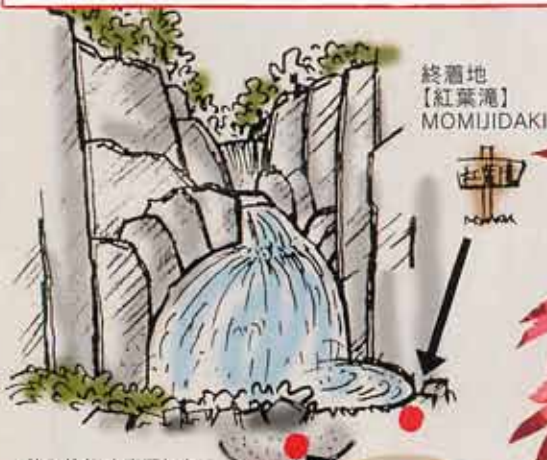
往復“徒歩”のコース

往路

「すっごーい!」じっくりと観て、写真も撮って、
大自然を満喫。終点「紅葉滝」まで約60分

復路

まっすぐ帰路30分



終着地
【紅葉滝】
MOMIJIDAKI

おつかれさまでした。
曇3〜4枚ほどの小さな
場所に到着。柱状節理の
岩から落ちる二段の滝は、
秘境のごとく。先への道はありません。
(紅葉滝・赤石(あかishi)川の源は、
大雪山中央の御鉢平(おほちだいら=大昔、
巨大噴火後にできた陥没地/カルデラ)

★真冬は、滝も氷ってしまいます。

道幅50センチ位
アップダウンの連続。
“けもの道”のようです。

道と並行する
川は「赤石川」。
清流の音が
聞こえます。

進行方向、左の崖下は、
柱状節理をバックに
巨岩の間を二重三重に
流れ落ちる赤石川…。
原始の森の静けさは
対照的です。

川辺に下りましても、
激流・岩が危険です。

「クマグラ広場」

飲料水路

元・保養所

カーブの正面に
見えるのは「鷹岩」です。

“原始の姿”を
留める森林地帯に
入ります。
源泉地「硫黄(いおう)
の臭い」も感じます。

幹の太さ
1m弱



「クマグラ」

(位置右上) 滝
(りん)とした
姿で、天に向
かってまっす
ぐに伸びるこ
の古木ドマ
ツには、数多
くクマグラ
の巣穴があ
ります。

右に柱状節理。左は崖。
細く急な道を
下ります。



高さ3m以上。
道沿いの「柱状節理」は、
上部が苔むし、
さらに上には樹木が
根を張っています。

「オウゴン」

“オウゴン”とはアイヌ語で
“イチイ”のこと。

苔むした巨岩の上に、
オウゴンが根をおろしています。

注

「えっ!」と思うほど、岩と岩の間の細い方の
道へ進みます。
方向看板も
あります。

道幅40センチ位

「治山施行地」
看板

「倒木更新」

【紅葉谷散策道入口】
ここから、砂利・土の道になります。

九十九川(沢)の
伏流水は、黒岳
山腹から運ばれ、
“北海道の名水”
にも選ばれています。

MOMIJIDANI
「紅葉谷」
案内板

源泉送管
つくる
九十九川

曲線の
「九十九橋」

紅葉谷入口の
朽(く)ちた老木。

ゆるい上り坂の
始まりです。

赤茶ブロックの
町営住宅

ユース
ホステルせん

フランスホテル
朝陽亭せん

温泉街

ホテル大雲せん

★より安全に!

要・熊鈴

各ホテル売店にて
販売しております。(各種有)

注 サンダル、ハイヒール等は、不向きです。